

いちのせ形成外科皮膚科 眼瞼フェイスクリニック

兵庫県尼崎市潮江 1 丁目 3 番 43 号 2F
URL : <https://www.ichinose-plasticsurgery.com/>

院長 一瀬 晃洋

×

ゲスト 布川 敏和



(2018年5月取材)

まぶたの専門治療、顔のアンチエイジングを軸に 形成外科・美容外科の多様なニーズに応える

——今年の4月に開院されたばかりと
いうことで、おめでとうございます。

ありがとうございます。当院は、JR「尼崎駅」直結の複合医療施設にオープンした形成外科・美容外科です。関西一円はもちろん、新幹線・航空機でのアクセスも良く、駐車場も完備しています。

——どのような診療を手掛けられて？

当院では、「まぶたの専門治療」と「顔のアンチエイジング」を中心に手掛けています。簡単に私の経歴をご説明いたしますと、『神戸大学』医学部を卒業後、まぶたの形成外科、美容外科、一般形成外科を専門領域として経験を積み重ねてきました。また、『神戸大学』医学部附属病院の美容外科の新設にも尽力。准教授及び診療科長に就任し、美容医療を実践してきました。そして現在、長年の臨床経験に基づき、多様な形成外科・美容外科のニーズにお応えしています。

——安心して受診することができますね。ところで、「まぶたの専門治療」と

いうのはあまり聞き慣れませんが、どのようなニーズがあるのでしょうか。

上まぶたが垂れ下がる「眼瞼下垂」といった疾患に悩まれる方は多いですね。眼瞼下垂は先天性と後天性に分かれるのですが、後天性の多くは加齢によるものです。まぶたが下がってくれば視界も狭くなり、入ってくる情報量も少なくなりますし、ほかの部分に負担がかかってくるため頭痛や肩こりといった症状につながります。保険診療が適用されますから、年齢のせいとあきらめるのではなく、きちんと手術を受けていただきたいですね。また、他院での手術後の不具合といったご相談も気軽にさせていただければと思います。

——では最後に、今後の展望を。

優秀なスタッフにも恵まれ、良いスタートが切れたと実感しています。今後も万全の体制のもと、皆様にとって身近な場所となるよう、しっかり歩みを進めたいですね。